

まちづくり出前講座「学びの宅配便」

町民と行政が一体となった学びの場「学びの宅配便」が始まりました。

この「学びの宅配便」は、役場職員が講師となり行政の取組みについて話しをする「行政編」及び町民の皆様の趣味・特技を活かした町民ボランティア講師による「町民編」とに分かれています。

行政編が47講座。

- ・ ○予算はどうやって決まるの？
- ・ ○友部の福祉ってどうなの？
- ・ ○駅周辺の開発計画をもっと知りたい！
- ・ ○健康について学んでみたいわあ～ など

町民編が24講座。

- ・ ○子どもと一緒に何か作りたいなあ～
- ・ ○ティー・パーティーをしてみたい！
- ・ ○ペン習字を習ってみたい。
- ・ ○簡単なストレッチ運動とか習ってみたい。 など

行政編・町民編あわせて、計71講座開講しています。ちょっとしたカルチャースクールみたいな感じで、町民の皆様が楽しく気軽に学べるように講座メニューを用意しています。

★「学びの宅配便」のご利用方法

- ・ 実施予定日の14日前までに利用申込書を提出してください。
- ・ 講師の方と日時・内容を調整して、代表者の方へ連絡します。
- ・ (申込書は、役場1階ロビー・2階企画課、中央公民館ロビー・図書館に置いてあります。) 【友部町のホームページからもダウンロード出来ます】

○申込みできる方

- ・ 町内に在住、在学又は勤務する5人以上で構成された団体・グループとします。

○講座内容

- ・ 「学びの宅配便」メニューの中からお選びください。

○会場

- ・ 町内を会場とし、会場の手配や準備等は申込者側(団体・グループ)でお願いします。

○講師料等

- ・ 講師料は無料ですが、講座に必要な材料等がある場合は、その実費を負担していただきます。

○受講できない場合

- ・ ①講座の目的に反すると認められるとき。
- ・ ②公の秩序を乱し、又は善良な風俗を阻害するおそれがあるとき。
- ・ ③政治、宗教、又は営利を目的としたとき。

～ お問合せ先 ～

友部町役場 町長公室 企画課 まちづくり推進室
tel: 77-1101(323) fax: 78-0612
e-mail: machi-z@town.tomobe.ibaraki.jp
HP: <http://www.town.tomobe.ibaraki.jp/>

タクト通信

タクト通信とは★ どんなすばらしいオーケストラも、指揮者が素晴らしいだけでは良いメロディーを奏することはできません。演奏者一人ひとりが力を合わせることで、素晴らしい音楽を提供できるのです。友部のまちづくりも、「住民の持つパワーを結集させることによってより良い町となる」という思いを込めています。

Vol.07

「友部学」

2004年5月 編集・発行：友部学推進本部

豊かな明日へのナビゲーター



<http://www.town.tomobe.ibaraki.jp/>

住民と行政が協力しあい、より良い友部町を築くため、共援・共創・共感・共生を基本理念として、共に発展していくために...

「友部学」

友部学まちづくり講座 (活動報告)



現在のまちづくり講座は、4班29名の受講者を迎え昨年11月に開講式を行いました。

4月までに8回程度の講座を行ないました。皆さんがそれぞれのテーマに基づき、調査研究をしています。

はじめの頃の講座では、友部町の現状把握・課題・問題解決法の検討など会議形式で行ない、その後、アンケートやイベントを開催するなどの実践的な活動をそれぞれ展開しています。現在は、その結果を分析して、今後の解決・改善方法の検討などを行なっているところです。

今後、これらの講座は6月20日の閉校式までに合計12回程度(残り4回程度)実施する予定です。閉講式には今までそれぞれのテーマに基づき調査研究してきた結果をみなさんの前で発表してもらうこととなります。

今回は、各講座に参加している人達の真剣に取り組んでいる姿を紹介いたします。

第二班 「国際交流の取組みについて」

近年、国際情勢のめまぐるしい変化の中、日本の国際協力体制に期待が高まっています。国内でも、共に地球に住むものとして、国際協力・国際交流の重要性が高まっています。

友部町としても地域社会における身近な国際交流を推進しており、町民の一人ひとりが、地域の豊かさや多様性を享受でき、すべての人にとって住んでよかったと思えるような開かれた地域社会づくりを目指しています。

当講座では、先月4月10日に大盛況の中、開催された「北山さくらまつり」において、町内在住の外国人の方々に日本の伝統文化である「お茶」と「花見」を体験してもらいました。

「お茶」の体験では、「友部お茶の会」のご協力を得て特産物の葉を使用したお菓子をお茶請けにしてお茶を体験してもらいました。「花見」では、国際交流班の会員一人ひとりが手作りで日本の伝統料理(赤飯・きんぴらなど)を作ってくて持寄り、来ていただいた外国人の方々に振舞いました。

最後に、簡単なアンケートをしてもらい感想を伺ったところ、「大変楽しかった」、「よい企画でした」、「また開催してほしい」など好評な意見をいただきました。



(お花見の体験)...北山公園

～ 参加者からの感想 ～

当日は満開のさくらの下、天気にも恵まれ、最高のお花見日の中でイベント開催となりました。お昼は、お花見弁当をテーマに各自が弁当を持ち寄り、みんなで青空の下楽しく昼食をとることができました。

イベントを開催するまでは、不安も多くありましたが、実際に開催してみて国際交流とはそれほど高いハードルではないと実感しました。

今後もこの様なイベントを継続していきたいと思えます。



(お茶の体験)...北山公園管理棟

第一班 「男女共同参画社会実現に向けて」

女性も男性も、お互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を發揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の課題です。国・県においても重要な課題として様々な施策が推進されていますが、現在、町でも「友部町男女共同参画プラン」の策定を進めています。

そこで、まちづくり講座で友部町における男女共同参画社会を実現させるために、現在、何が支障となっているのか、また、どのようにすれば推進していけるのかと様々な意見を出し調査研究しています。

現在は、町でアンケートをとったものを分析したり、実際に一戦で活躍している女性にインタビューなどを行い、女性が働く上で何が一番大変なのか・支障になっているのかを知り、解決策を検討しています。



(男の料理教室参加者に対しインタビュー)... 社会福祉会館

第三班 「地産地消について」



(経済学園の先生を交え、地産地消の生産方式の検討)... 役場会議室

「地産地消」は、地域生産地域消費の略です。現在は、物流システムが向上したおかげで、地元でないものでも速く運んで来て、いつでも欲しいものが手に入るようになっています。しかし、すべてのものが安全で安心できるかを知ることは、消費者にとって困難であります。

このような社会で、地元生産者が丁寧に育てた作物を地元で消費できることは、①季節ごとに取れたてを味わえる、②消費者と生産者のコミュニケーションが生まれる、③過剰な包装・運搬費削減など省エネルギーにつながるなどメリットがあるのみならず、自給率を上げると共に、消費者・生産者が同じ地域で暮らすことにより地域の結びつきが強くなり、環境に対する意識・生活の質の向上につながるかと考えられます。

今回は、農作物における地産地消を重点に考え、学校給食等の場では、すでに「地産地消」が行なわれていますが、今後どのように町内に広がっていくか、地域の流通システム構築の可能性を調査研究しています。

第四班 「学校・地域・家庭の連携について」

昨年の暮れから町内の各小学校を訪問し、学校での課題や問題点、また、学校として地域に望むことなどを聞き取り調査を行ないました。その結果、各学校とも①子どもたちの登下校時における安全確保②子どもたちの土日の過ごし方について、課題を抱えていることを把握いたしました。

近年、全国的に学校内での子どもたちの安全確保が叫ばれておりますが、校外においても人為的な被害の話を多く耳にするようになってきました。友部町内においても、昨年から下校時に不審者の出没などの情報が寄せられております。

このようなことから、今回は、子どもたちの登下校時の安全確保に重点を置き、子どもたちの安全・健全なる育成を図るために、学校・地域・家庭が連携した新たな安全パトロール隊の結成をめざし調査研究しています。



(子どもの安全確保活動について関係者と協議会議)... 友部小学校